

協会の概要

◆ 目的

兵庫県における創造的な科学技術の振興を総合的に推進するとともに、西播磨テクノポリス地域高度技術産業集積活性化計画で定められた地域を中心に高度技術に立脚した工業開発を促進し、もって魅力ある地域社会の建設及び国際社会の発展に寄与する。

◆ 沿革

〈1992年 7月1日〉

- 財団法人ひょうご科学技術創造協会設立

〈1998年 7月1日〉

- 財団法人播磨テクノポリス財団と統合し、「財団法人ひょうご科学技術協会」に名称変更

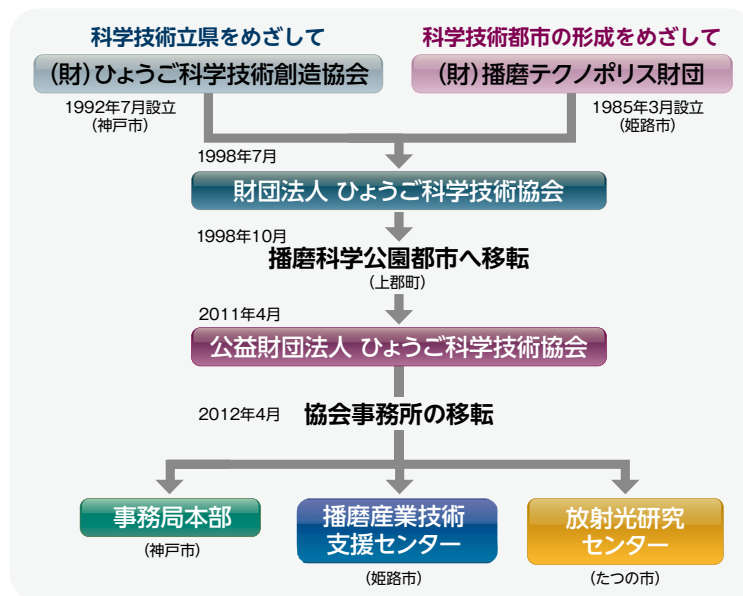
〈2011年 4月1日〉

- 公益財団法人への移行

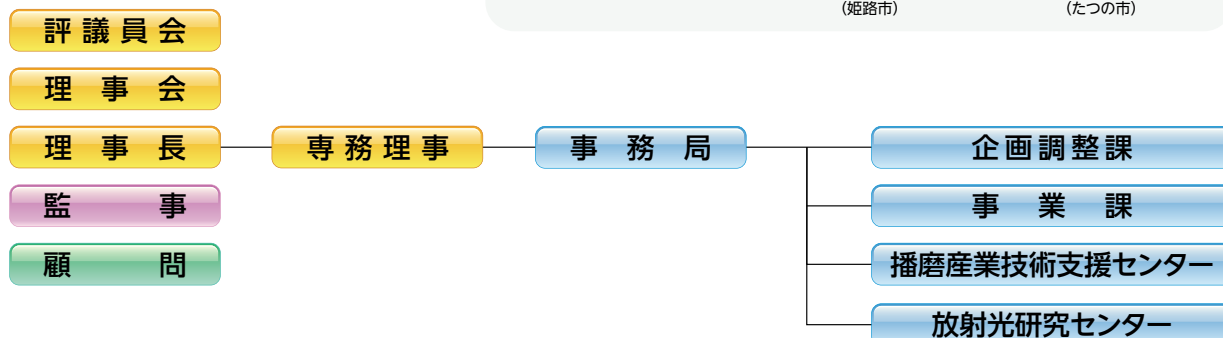
◆ 基本財産等

- 基本財産 2億円
- 科学技術振興基金 39.4億円
- 播磨産業活性化基金 9.5億円

〈沿革図〉



〈組織図〉



理事長ごあいさつ

本協会は、兵庫における科学技術振興の中核的機構として、科学技術の振興を通じて県民生活の向上と地域社会の発展に貢献することを目的に、各方面の多くの方々のご支援によって1992年7月に設立されました。1998年7月には財団法人播磨テクノポリス財団と統合、さらに2011年4月に公益財団法人へ移行し、2019年4月には放射光研究センターを設置するなど組織を拡充し、2022年7月、設立30周年を迎えました。

この間、科学技術の学術的な基礎的・基盤的研究から応用・実用化研究まで各種の研究活動を支援する研究助成事業、それらの研究開発成果の産業界への技術移転の促進と産学官の連携・交流の強化、地域産業の技術力の育成・高度化、一般県民や、次世代を担う青少年を対象とした科学技術の普及・啓発活動など、科学技術の振興に資する幅広い事業に取り組んで来ました。

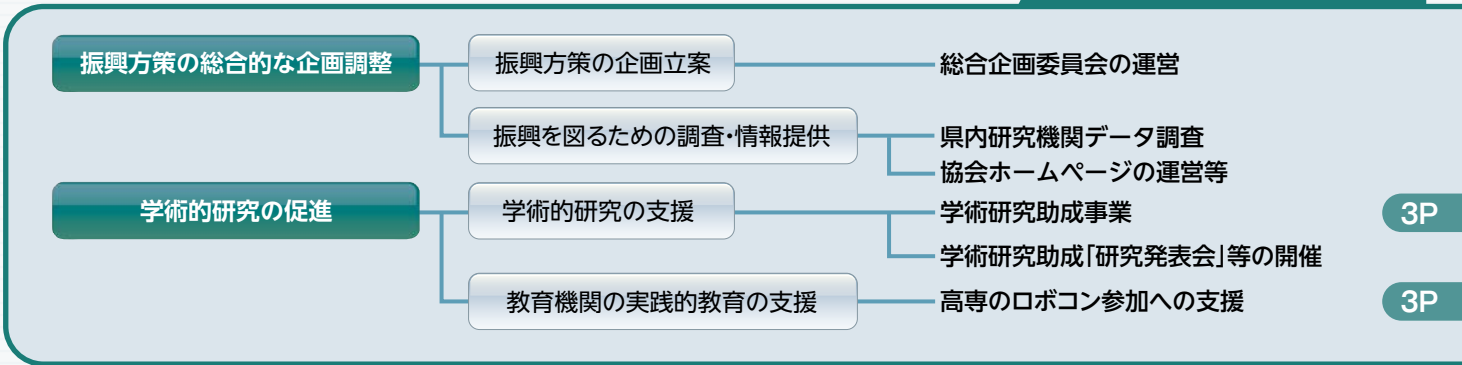
これからも皆様のご期待に添えるよう、今後とも一層力を尽くしてまいりますので、皆様方の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



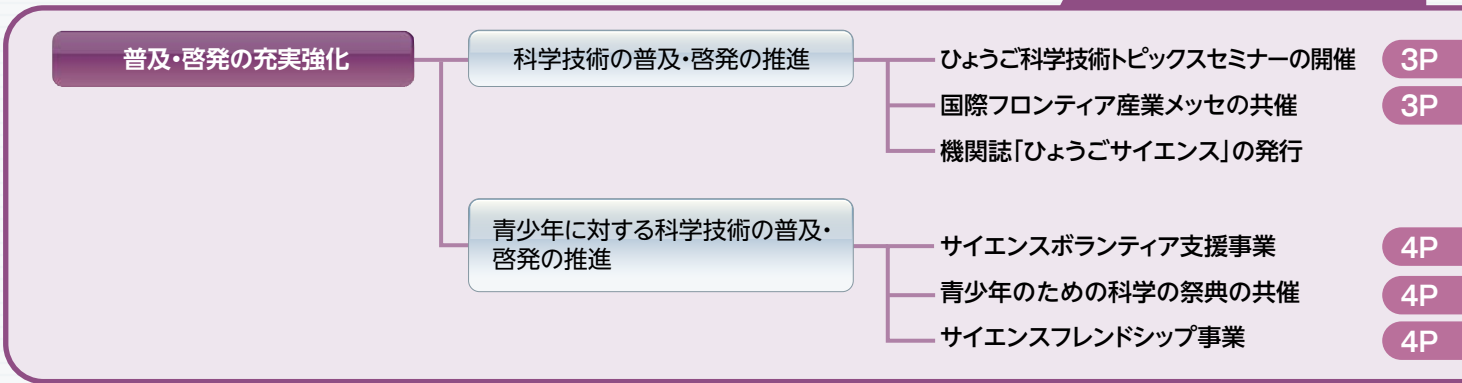
公益財団法人
ひょうご科学技術協会
理事長 平尾 公彦

事業の体系表

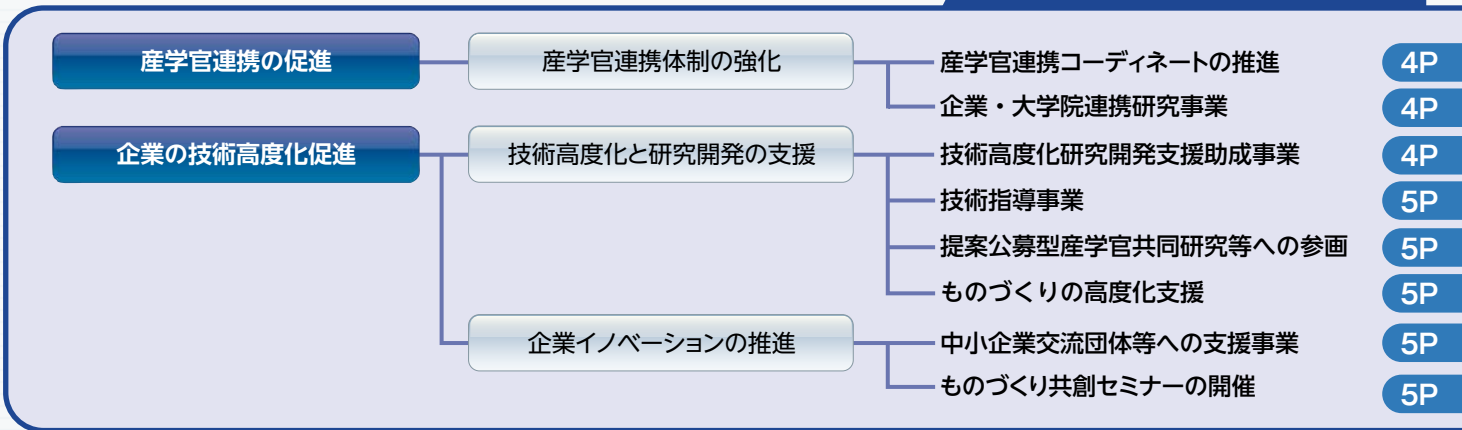
科学技術の総合的な振興



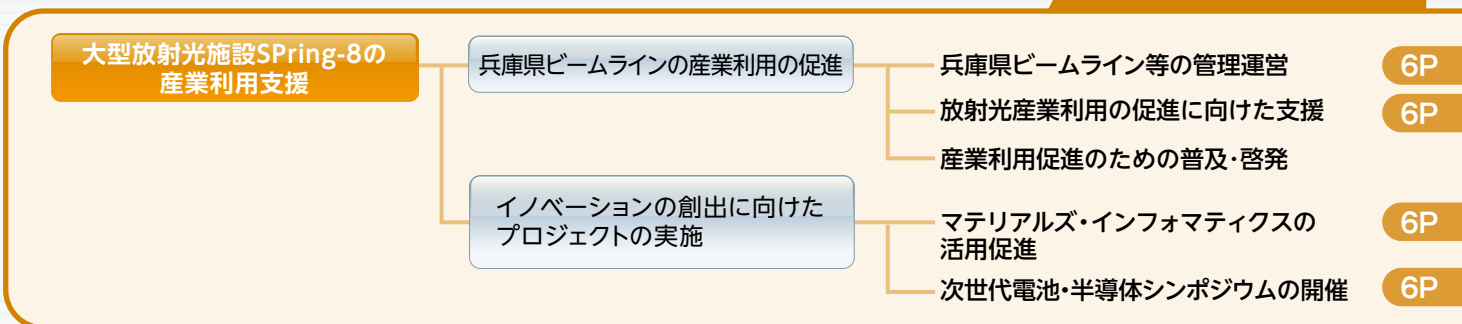
科学技術の普及・啓発



地域産業の技術開発力の強化・育成



放射光研究開発の支援



【学術的研究の支援】

学術研究助成事業

基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する応用的・実用的な研究及び若手研究者による創造的・萌芽的研究を奨励するため、研究資金を助成しています。

対象者	兵庫県内に在勤・在学または在住する研究者・技術者	
通常枠	助成額	100万円以内/件
	助成件数	33件程度/年
特別枠	助成額	100万円以内/件・年(最大3年継続可)
	助成件数	継続3件 ※新規募集は終了
	※県にある科学技術基盤の活用が条件	

※助成対象の4つの分野(系)

医学・薬学・看護系	理学系
生命科学・農学系	工学・情報・学際系

(お問い合わせ) 事業課 TEL.078-362-3846

【教育機関の実践的教育の支援】

高専のロボコン参加への支援

工業高等専門学校の実践的教育として認知度の高いアイデア対決・全国高等専門学校「ロボットコンテスト」への参加費用を助成し、全国大会への出場やロボコン大賞の獲得を支援しています。

【科学技術の普及・啓発の推進】

ひょうご科学技術トピックスセミナーの開催

一般県民を対象として、科学技術の各分野における第一人者を講師に招き、最先端の話題をテーマにわかりやすく解説するセミナーを開催しています。



日本列島 山国誕生の謎 ～東西圧縮の原因～

国際フロンティア産業メッセの共催

兵庫経済を牽引する新産業の創造を推進し、国際的な技術・ビジネス交流を加速させるため「国際フロンティア産業メッセ」を関係機関とともに共催しています。

また、当協会の支援により技術開発や商品開発に取り組んでいる企業や県内大学・高専に参加を呼びかけ、「ひょうご科学技術協会グループ」として出展し、開発製品や研究内容などを広く発信しています。



国際フロンティア産業メッセ

【青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進】

サイエンスボランティア支援事業

自然科学系の教育者、研究者及びそのOB等が、主として小学校高学年から中学生及び青少年に理科を教える教育者等を対象に、学校、企業、地域で行う実験教室などの科学学習分野におけるボランティア活動に対して、助成金を交付しています。

対象経費 旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、借料、損料など

助成額 1件につき、20万円を限度

〈お問い合わせ〉企画調整課 TEL.078-362-3845



上皿天秤で計測

青少年のための科学の祭典の共催

楽しい科学実験や科学工作などを通じ、子どもたちが自ら体験し、科学に対する興味や関心を高めるため、「青少年のための科学の祭典」を県内5会場（神戸・東はりま・姫路・豊岡・丹波）において関係団体と共に開催しています。

サイエンスフレンドシップ事業

大学生・大学院生がサイエンスフェアで、研究内容、学生生活の魅力などを高校生にアドバイスを行うサイエンスカフェなどを関係団体と協力して開催しています。

播磨産業技術支援センター

播磨産業技術支援センターでは、播磨地域の産業活性化と技術高度化を図るため、技術参与やシニアアドバイザー等を配置し、大学や公的研究機関等と地域産業の交流・連携を促進し、高度技術の開発又は利用による新事業の創出や新分野への進出を支援しています。

【産学官連携体制の強化】

産学官連携コーディネートの推進

専門人材を配置し、大学等の研究機関の研究開発シーズと企業の研究開発ニーズのマッチングのサポートや産学連携による共同研究のコーディネートを推進するなど、産学官の連携を促進しています。

企業・大学院連携研究事業

県内大学の大学院生の資質向上や県内企業の活性化、技術の向上を図るため、大学院生が行う県内企業との産学共同研究を支援しています。

【技術高度化と研究開発の支援】

技術高度化研究開発支援助成事業

播磨地域に事業所を有する中小企業等が、新分野進出や新事業創出を図るために取り組む新技術・新製品の研究開発事業に対し、助成金を交付しています。

対象者の資格	播磨地域に事業所を有する企業または個人事業者
助成額	対象経費の合計額の2分の1以内の額とし、1件につき150万円を限度
対象経費	助成対象事業に直接必要な経費(消耗品費・旅費交通費・研究委託費等)
助成件数	4件程度

〈お問い合わせ〉播磨産業技術支援センター TEL.079-287-1212

技術指導事業

播磨地域の中小企業が抱える多種多様な技術課題について速やかに対処・解決するため、機械や化学などの専門家が技術相談・指導を行っています。

〈お問い合わせ〉 播磨産業技術支援センター TEL.079-287-1212

提案公募型産学官共同研究等への参画

企業の新技術や新製品開発を目的とし、国及び県等の各種提案公募型産学官共同研究を積極的に推進するため、研究チームの代表機関として、成長産業育成のための研究開発支援事業などへ参画しています。

〈お問い合わせ〉 播磨産業技術支援センター TEL.079-287-1212

ものづくりの高度化支援

ものづくり支援センター播磨の管理運営の委託を受けて、中小企業のものづくりの高度化を推進するとともに、走査型電子顕微鏡等ものづくり関連機器の管理運営及び技術指導などを行っています。

設置場所	播磨産業技術支援センター(姫路商工会議所内)
機器名	● 走査型電子顕微鏡(X線分析装置付)

〈お問い合わせ〉 播磨産業技術支援センター TEL.079-287-1212



走査型電子顕微鏡(X線分析装置付)

【企業イノベーションの推進】

中小企業交流団体等への支援事業

中小企業交流団体等が播磨地域の産業技術高度化を図るため実施する講演会・研修会等、技術交流に係る各種事業を支援しています。

ものづくり共創セミナーの開催

産学官の共創による持続可能な地域活性化に貢献するため、ものづくりの高度化や新産業の創出に繋がる技術・情報を紹介するセミナー等を、関係団体と共に開催します。



シンポジウム風景

兵庫県放射光研究センター

大型放射光施設SPring-8を取り巻く環境の変化に的確に対応し、データ科学の活用をはじめ新たな放射光産業利用の取り組みを推進するため、兵庫県及び関係機関と連携しながら、放射光関連業務を実施しています。

【兵庫県ビームラインの産業利用の促進】

兵庫県ビームライン等の管理運営

兵庫県がSPring-8に整備している2本の県専用ビームライン(BL24XU、BL08B2)及び、放射光の産業利用支援拠点である兵庫県放射光研究センターの管理運営を行っています。

放射光産業利用の促進に向けた支援

放射光の産業利用を一層促進するため、兵庫県放射光研究センターを拠点に、兵庫県ビームラインを活用し、企業への技術相談・助言や受託サービスの放射光利用支援等を実施しています。

(お問い合わせ) 放射光研究センター TEL.0791-58-1415



SPring-8(提供：理化学研究所)



兵庫県放射光研究センター

【イノベーションの創出に向けたプロジェクトの実施】

マテリアルズ・インフォマティクス(MI)の活用促進

放射光の産業利用ニーズの変化に対応するため、MIの活用に向けた企業人材の育成やMI活用の促進など課題解決型の放射光利用を推進しています。

県専用ビームライン「放射光データを活用し、革新的な成果を創出」

BL24XU	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイクオリティX線による分析でナノサイズ～サブミクロンサイズの構造情報を理解し易く可視化提供 ● 明るくフォーカスしたX線ビームでサブミクロンの世界を精密に解明
BL08B2	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の製造プロセスを再現しながらリアルタイムで材料構造の変化を把握 ● 原子、ナノ、マクロのマルチスケール分析を同時に利用し、構造情報を一度に収集

次世代電池・半導体シンポジウムの開催

次世代電池等の分野での県の強み(科学技術基盤、研究機関、最先端研究等)や潜在力を発信するシンポジウムを開催します。

公益財団法人
ひょうご科学技術協会

Hyogo Science and Technology Association
<https://hyogosta.jp/>

〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
(兵庫県庁1号館7階)

【企画調整課】 TEL.078-362-3845 FAX.078-362-3851
【事業課】 TEL.078-362-3846 FAX.078-362-3851

【播磨産業技術支援センター】

〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町43番地
(姫路商工会議所本館2階)

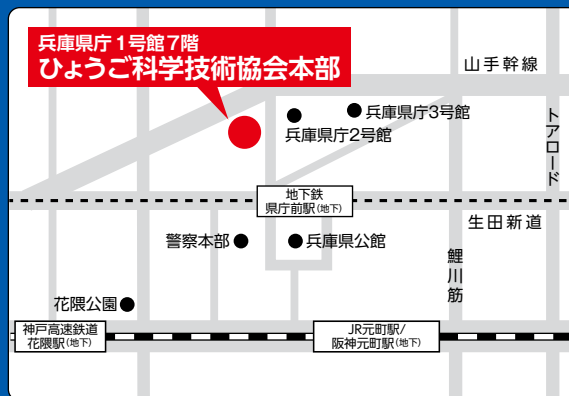
TEL.079-287-1212 FAX.079-287-1220

【放射光研究センター】

〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光都1丁目490-2
(大型放射光施設SPring-8敷地内)

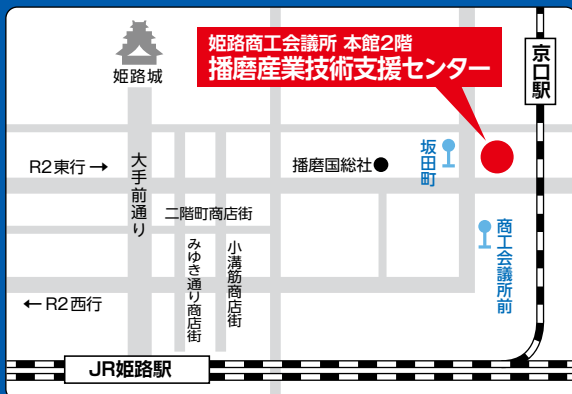
TEL.0791-58-1415 FAX.0791-58-1457

<https://www.hyogo-bl.jp/>



〈アクセス〉

- JR / 元町駅下車 西口北へ徒歩8分
- 阪神 / 元町駅下車 西口北へ徒歩8分 ● 市営地下鉄 / 県庁前駅下車すぐ



〈アクセス〉 JR姫路駅よりバス・徒歩でお越しの場合

- 神姫バス / 日出町行乗車 → 商工会議所前下車
鹿島神社行、夕陽ヶ丘行、別所駅行乗車 → 坂田町下車
- 徒歩 / 所要時間20分程度



〈アクセス〉 JR相生駅、JR播磨新宮駅よりバスでお越しの場合

- (株)ウイング神姫 / SPring-8行乗車